

# 藤間秋男の 100年企業創りレポート



●今月の経営テーマ “積極的に行動しよう!”

積極的に行動することで次のようなメリットがあります。

- ①毎日が楽しくなります
- ②活気あふれる職場になります
- ③多くの体験から学ぶことができます
- ④仕事がはかどります
- ⑤業績が上がります

株式会社コスモ教育出版「理念と経営」カレンダーより

(1) 藤間と一緒にシリコンバレー企業視察に行きました。  
シリコンバレーはアメリカ西海岸で、グーグル、フェイスブック、アップルなどを生んだ「ベンチャー企業の聖地」といわれています。今日の中小企業が進出を目指す動きが相次いでいます。そのシリコンバレーを目指すのは日本のIT企業、ベンチャーばかりでなく、日本のものづくりを支えた中小企業にもその動きが広がっています。また国際化を考えている方も第一歩として視察に行きませんか? 申し込みは3月まで。(定員5名まで)

このシリコンバレー視察の特長は、  
①シリコンバレーの全体像がわかります。(12社まわります)  
②通常は会うことが難しい起業家、専門家と会える。  
③進出に対して本気度の高い経営者が集まる。  
「シリコンバレーにチャンスあり」一緒に視察行きませんか?  
2016年5月9日(日)~11日(水) 現地集合・現地解散です(先着順15名)  
(視察に国際化のスタートをしますか。)

(2) 録音 (坂村真民 一日一言。一月1日に紹介)  
「日本を輝かしい国にしよう  
明るい国にしよう  
国は小さくけれど住みよい国にしよう  
日本に生まれてきたよからと語るおきな国造りをしよう  
これが21世紀の日本へのわたしの願いだ。」  
TOMAGグループも、社員・家族、お客様、地球を  
明るく・楽しく・元気に・前向きに存続グループになるべく  
これからがんばります

(3) チームを好きになること。(日本サッカー代表 五郎元歩)  
「メンバーシップアップの方法で共通することがあるとしたらチームを好きになることではないでしょうか。日本でのW杯が開幕後、2019年に向けてこのチームで勝つたいと心から思いました。自分のチームを好きになる力は湧いてきません。企業もスポーツと同じで所属する企業や組織を好きになるにはメンバーシップはあがります」  
皆様は自分の会社か大好きですか。私は大好きです。TOMAGグループも、TOMAGグループが大好きで、不景気が増えれば増えるほど成長していくと思える努力を続けたい。(日本創成育成研究所)

(4) 7タミグループ赤字の10の原因 (セミナー7タミ創業者 創業者が語りました。おこし勇気つづ (渡辺英樹氏) (セミナー7タミ創業者)

- ①業績も良く金額が安心していた。安心しては経営に存続し、特に幹部が安心してしまつた。(経営の基本を)
  - ②PDCAサイクルがうまく回らなかった。(くおしたタ×均ね)
  - ③1円へのこだわりがなくなった。水おしほりなどの無駄に気がつかない。(創業者の無駄が身を切りとじゆる思ひ。)
  - ④強みである高利が会社をためたがる。(これしかないと存続を主張がでるようになる)
  - ⑤財務意識の欠如。(無借金体質が急激な変化) 他。  
(企業は生ものと言わねば、あつた間と業績悪化を繰り返すよ。安心してはタ×でいるぬ。  
最後の渡辺氏の言葉がオツカるぞ。
- 「福は福存のため」100年先のあの2015年の問題が起きたから現在がある」と言える会社になると宣言されました。

(5) 「はじめに訪れた日、経団連第4代会長 土光敏夫 在石の銘  
中国商賈の湯王が言い出した言葉 (元寇が来る話)  
「今日ある今日といふ日は、天地開闢(かみひら)以来はじめて訪れた日である。しかも負之人も王将に等しき者なり。」

そんな大事な一日だから、もっとも有意義に過ごさなければならぬ。  
そのため、今日の行いは、昨日よりも詳しくあり、明日の行いは  
今日よりもさらに新しくあるように修養した心がけを「マツ」である。  
(日に新たに、日々を新たに)

昨日も明日も同じ、新たに今日という清浄無垢の日を  
迎える。今日という一日を全力で迎える。今日一日を有意義に過ごす  
(私も昨日と同じように、絶対たしかなという気持ちでマツ)

### (6) 変化を嫌がる理由 (船井総研 橋本直行)

「リーダーとは、組織と何か不連続なものを引き継ぐことができる人」(竹中平蔵)

しかし不連続な新しいものを引き継ぐと、必ず拒否反応が  
出ます。多くの人は変わるのを嫌うから。その理由は  
「何かが変わると失うものが明確にわかるからです。でも  
得られるものはありませんししかあがる」

A定食というメニューを常連が、ある時がB定食に変更になると  
検討します。A定食のおいしさを生かすには明確にわかりませんが、  
B定食がどれくらいおいしいかはわかりません。Bが一定の量  
いるのです。中でも人は「新しい人間」の特性が来る拒否反応  
と戦う。リーダーは構想とした左かきと求めようとする。新しい  
前回はA定食がメニューの店をさかします。常に進化  
変化していきたい。アイデア。右からTOMAは成長していきます。  
TOMAが100%の中を、変化を嫌がる人々をTOMAにする。時代は進化  
進化しているのだから、とり残さなければなりません。

### (7) ミネルバのらくろ 横田尚哉。(人の心に火をともす)

「生き残るのは最も強い種でも最も賢い種でもありません。  
唯一生き残るのは変化に適合できる種です。」(ダーウィン)

経済の変化、消費者の変化、テクノロジーの変化、時代は常に変化している。

- ① ホラロイド (1965年大ヒット) (2001年デジタル化により倒産)
  - ② コダック (フィルムカメラ) (2012年デジタル化により倒産)
  - ③ 富士フィルム (フィルムカメラ) (2015年最終利益46%増益を最期)  
2006年開所した富士フィルム先進研究所の、一つのシンボルである。
- 「ミネルバのらくろ」は、ローマ神話の女神ミネルバに、一つの文明

一つの時代が終わると、ふくらみと飛び出した。

進化しなければ、生物も企業も生き残れない。進化すること  
恐ろしい人々がいる。前回は、進化するための「学び」が、  
ことだ」と思っています。「学び」と「経営」、600日以上「学び」が、  
(8) 理念と経営 (進化するための「成功事例」を「学び」)

- ① 今おられるままでいることの多くは、二歩も何歩も何歩も  
失敗や挫折を繰り返して積み重ねた修行のたまもの。
- ② 夢がある人は、挫折はあります。でもかきこむ。
- ③ 「大いなる悪魔」怒る。威張る。罵る。腐る。負ける。
- ④ 人生は学校である。そこで「幸福」も「不幸」の方が良き教師
- ⑤ どんな苦しいときでも解決策は必ずある。
- ⑥ 他社に絶対真似かできない。「スピード戦略」と「社長決定権」
- ⑦ この会社をどう埋めたいか。そしてこの会社でどう生き残るか。
- ⑧ 社長は誰か。もう一人。自分自身か。それ以外の会社仲間か。
- ⑨ 今、黒字でもこのままに「死」にかかると。全く新しい本元で生きる。
- ⑩ 自分自身か。白黒あり本元、心をつくった子本元で生きる。
- ⑪ 小さい本元だが、この人変換を担う必要のある強い個性を出す。
- ⑫ 口コミでよい評価を伸ばす。評判よりも「評判」の「評判」は  
「X」で「よ」か、右か、と人に勧められるほどの評判を伸ばす。
- ⑬ お客様の「お褒め」の言葉は社長一人一人の重みで、それを大切に  
共有して喜ぶ合点をとる。
- ⑭ 一つの時代が「下物」のいる、組織は成長し続ける。
- ⑮ 人の不幸の上に幸せをうらやまはする。⑨~⑫ 座の村と東京
- ⑯ 経営は人を幸せにして社会を良くするもの。木下 隆弘氏
- ⑰ お客様を優先すること。会社も発展する。⑭~⑰ 田舎徳村  
理念と経営
- ⑱ 小玉基本 桜高技校長、徳木 隆山 ⑮~⑲ 上物江又社長 12月号より

今月の  
**元気が出る**  
言葉集

**楽しく生きるための言葉**

「楽しく生きる」とは、「楽しいことをやる」ことだけでなく、「やることを楽しむ」過程なのだ。(近藤裕)	「楽しみを期待するのでもた一つの楽しみである。」(レッキング)
「自分の今行っていること、行ったことを楽しむ者は幸福である。」(ゲーテ)	「人生を楽しむ秘訣は、普通にくだらないこと。普通と言われる人生を送る人間なんて、一人としていやしない。」(アインシュタイン)
「僕は、毎日今を楽しみたいから、無理やり何かイベントしていますよ。」(所ジョージ)	「快樂は、心に在りて事に在らず。」(佐藤一斎)